

令和8年度

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画書

自 令和8年4月 1日  
至 令和9年3月31日

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団

## 令和8年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画

### [取組方針]

令和8年度（2026年度）は文化ホールと美術館の指定管理が、第5期（令和6～10年度）の3年目となります。両施設の管理及び事業運営に当たっては、区民の芸術文化活動の拠点としての役割を十分認識し、区民に身近な施設としてさらに親しまれるよう、施設の安全確保の徹底と利用者の更なる利便性の向上に努めてまいります。

文化ホールでは、大ホールを1月から12か月間休館し、天井非構造部材の落下防止の工事等を行い、大規模地震時の安全性を高めます。美術館については、区策定の「新たな目黒区民センターの基本計画」に基づく整備の取組として行われた事業公募は、工事費等の急激な高騰で中止となり、7～8年度で行われている区有施設見直し方針及び見直し計画の改定検討作業と並行して美術館を含む計画の変更等が行われる予定です。財団としても引き続き、区と丁寧意見交換を進めます。

事業運営に当たっては、様々な時代の変化に的確に対応し、地域において芸術文化に触れる楽しさや感動を味わえる機会、自らが参加し表現する場となるよう区民や利用者の声を受け止め、新しい発想と創意工夫により取り組んでまいります。

8年度は、より多くの区民の皆様が芸術文化に親しむ機会を提供できるよう、インターネットを活用した映像等の配信やソーシャルネットワークサービスを活用した情報発信などに継続的に取り組むとともに、直接触れ合う体験が持つ重要性を踏まえ、優れた実演芸術や美術作品展示の鑑賞機会の提供を行うほか、アウトリーチ事業の充実などを図ってまいります。

また、計画的な人材育成と就労環境の整備を進め、職員一人ひとりの資質向上と組織の活性化を図るとともに、自主財源の確保や効率的な事業執行に取り組み、持続可能な財団経営に向けて、区の支援も得ながら経営基盤の強化に努めます。

区においては、芸術文化振興のための計画である「めぐろ芸術文化振興プラン」が7年度末に改定され、8年度から新たな10年間の計画期間に入ります。プランでは、将来像を「まちに咲く 芸術文化 みんなが育み つながるまち めぐろ」として、基本目標には、「1 芸術文化のまちなか展開と機会の拡充」、「2 芸術文化活動に親しむことができる環境整備」、「3 文化縁の形成と地域の連携強化」を掲げています。財団におきましても、区の芸術文化振興の一翼を担う公益法人として、プランの実現に向け、身近な地域で誰もが芸術文化に親しみ、心豊かに暮らすことができるよう、区をはじめ関係団体との連携・協力のもと、事業を展開し、区民の皆様の期待に応えてまいります。

## 目黒区文化ホール

### 1 運営方針

(1) 芸術文化の鑑賞、創造、発信の場として、また地域の芸術文化活動団体と連携していくことで、地域に根差したホールとしてコミュニティに寄与する取組を進めます。

(2) 各種事業の実施に当たっては、各年代層の要望に沿っていることや公演のジャンルに偏らないことに留意します。

また、実演芸術団体等と連携・協力し、当館の特性を活かした創造性・発信性のある事業を実施するとともに、区民の芸術文化に対する関心を高められる「大人のための演劇ワークショップ」、「子ども向けワークショップ（演劇、ダンス）」及び「吹奏楽&楽器クリニック」の実施など、幅広い年代の区民等の活動意欲が発揮できる機会を提供するために、参加型事業の充実を図ります。

(3) 「アウトリーチプログラム」については、区や教育委員会をはじめ、実施する施設との連携を密にしながら、環境や対象に応じたプログラムを実施し、区民が身近な場所で生のパフォーマンスを鑑賞する機会を提供します。

特に、児童・生徒を対象にしたプログラムでは、区立小・中学校をはじめ区内の高校や私立学校を対象として、芸術性の高い音楽や演奏家との交流を通じて地域の子どもたちの豊かな感性が育まれるように取り組みます。

なお、派遣するアーティストは、当館でコンサートを実施した演奏家に依頼するなど、引き続き当館の鑑賞事業とも連携した運営に努めます。

(4) 「目黒区文化祭」及び「めぐろオータムアート」については、目黒区美術館や行政（目黒区、東京都）との連携を図り、区民の幅広い芸術文化活動の支援に努めるとともに、区民が芸術文化の活動に出会い、楽しむことのできる機会を提供します。

(5) 広報については、ホールの魅力や活動・事業を広く周知するため、情報紙アートレターをはじめ、幅広い年代が利用するソーシャルネットワークサービスやメールマガジンでの情報発信など、様々な媒体を活用し効果的かつ効率的な情報発信に引き続き努めてまいります。

また、公式 YouTube チャンネルで公演の映像を公開することで多様な鑑賞機会を提供し、引き続きオンラインでの広報やコンテンツの充実など更に身近で魅力的な当館を発信できるよう努めてまいります。

(6) 事業内容の充実のため、区の補助金や東京都からの助成金の活用を図るとともに協賛金の獲得や法人及び個人の賛助会員の拡大など、収入の確保を図ってまいります。

また、各事業の収支のバランスにも留意しながら、区民等から信頼される堅実な運営に努めてまいります。

(7) 顧客満足度を高める工夫に努め、大ホール、小ホール及び中目黒G Tプラザホールの利用率は90%を目指して運営します。

なお、当館の行政と財団による利用枠は、これまでの一般利用の実績等など、今後の収益の見通しも踏まえ、大ホールが概ね25%、小ホールが概ね15%を目途に運営してまいります。

## 2 事業方針

### (1) 鑑賞事業

区民が良質な芸術・文化に触れる機会を提供するため、他館との連携を図る事業や親子で楽しめる事業など、より多様で魅力のある公演やイベントを実施します。

#### ア 主催事業

フレッシュ名曲コンサート、室内楽公演、夜のラウンジライブなど6事業

#### イ 共催事業

バレエ公演、0歳からのコンサート、三浦一馬五重奏団など10事業

### (2) 地域の芸術文化・支援事業

豊かで創造性のある区民文化の醸成や魅力のある地域づくりのための事業並びに障害等により一般的な公演鑑賞が困難な方を対象とした公演など、地域に寄り添った安全・安心なホールを目指してまいります。また、地域の多様な芸術文化団体の活動に対して、施設利用や広報等の支援を行います。

#### ア 主催事業

避難訓練コンサート、音と踊りの広っぱ、未来の音コンサートの3事業

#### イ 共催事業

オペラ公演、めぐろパーシモン芸術文化ネットワークによる公演など14事業

### (3) 体験・普及事業

アウトリーチプログラムやワークショップを引き続き実施し、芸術文化に身近に触れる機会の更なる充実を図ります。また、中高生の吹奏楽部員等を対象とした吹奏楽&楽器クリニックを本格実施いたします。

#### ア アウトリーチプログラム

区立小・中学校、区立幼稚園・こども園、区内の高校や私立学校、区立特別養護老人ホーム、区立心身障害者センター、東京医療センター

#### イ ワークショップ

子ども向けワークショップ(演劇、ダンス)、大人のための演劇ワークショップ

#### ウ 吹奏楽&楽器クリニック

中高生の吹奏楽部員等を対象とした吹奏楽&楽器クリニック

### (4) 指定管理事業(区との基本協定に基づき財団が実施する事業)

#### 沖仁セクステット

日本を代表するフラメンコギタリストによる六重奏公演を大ホールで実施し、地域における音楽の裾野を広げつつ、ホールの魅力度向上を図ります。

(5) 受託事業

ア 目黒区文化祭

目黒区文化団体連合会や区と協力し、民踊・音楽・演劇をはじめ様々な芸術文化団体の活動を支援します。

イ めぐるオータムアート

目黒区美術館と連携し、音楽と美術を合わせた創造性のあるプログラム等を実施します。

(6) 貸館事業

目黒区の実施計画に基づき、大ホールは天井非構造部材落下防止対策工事のため令和9年1月12日から10年1月7日まで、小ホールは舞台機構更新・客席部品交換工事のため令和9年1月12日から3月12日まで休館します。

今後も引き続き、施設の安全・安心な管理運営とともに、公平・公正な施設の貸出を行ってまいります。

## 目黒区美術館

### 1 運営方針

- (1) 芸術文化活動拠点として、誰もが身近で気軽に芸術文化に触れ、親しむとともに自らが芸術文化活動に参加できるよう、より開かれた美術館を実現します。  
また、芸術文化を通して様々な境界を超えて、人と人がつながる「文化縁」の形成、充実を図ります。
- (2) 事業運営に当たっては、経費の抑制に努め、予め作成した年間事業スケジュールに沿って実施します。  
また、他団体助成金の獲得など収入の確保に積極的に取り組むとともに、費用対効果も考慮しながら、事業ごとの収支バランスに留意してまいります。
- (3) 展覧会事業では、区民がより鑑賞を楽しめるよう、収蔵品も活用し、幅広いテーマによる企画展を展開するほか、展覧会の関連催事を実施します。  
また、令和8年度末から9年度初めにかけて、開館40周年記念プレ事業を行います。
- (4) 教育普及事業では、展覧会に関連するワークショップや画材の実験室、ガイドツアー、トイコレクションプログラム様々な事業を実施し、参加者が楽しみながら芸術文化へアプローチできる機会を提供します。  
また、ギャラリーツアーでは、引き続き校長会や図工部会等の学校教職員、学童保育クラブ職員などへの趣旨説明を丁寧に行い、子どもの鑑賞活動機会の拡充を図ります。
- (5) 受託事業等の実施に当たっては、文化ホールや区の芸術文化推進事業と連携を図り、幅広い芸術文化活動の充実に寄与するよう努めます。
- (6) 広報の一環として、ホームページのほか各種ソーシャルネットワークサービスを活用し、配信頻度や動画の配信時間の長さに配慮するなど、効果的な情報発信を図ります。

### 2 事業方針

- (1) 展覧会事業  
収蔵品を活かし、目黒ゆかりの作家を紹介するなど、区民に親しみやすい内容の充実を展開します。  
また、区民等の観覧料金の設定については、引き続き実施できるよう区と協議してまいります。
  - ア 自主企画展（3展）  
個性ある企画を通して多様な作品を紹介する展覧会
  - イ 指定管理事業（2展）  
区との基本協定に基づき財団が実施する目黒区美術館コレクション展

及びめぐろの子どもたち展

ウ 年間開館日数

区展を加え176日

エ 年間入館者数目標

5展（自主企画展3展、指定管理事業2展）で2万4千人

（2）教育普及事業

美術の普及や美術作品、地域の文化財への理解を深めるとともに、「観る」、「創る」、「考える」などの活動や交流を通して感性が育まれる事業として、例年行っている夏・春のワークショップやトイコレクションプログラムをはじめ、展覧会に関連したワークショップ、ギャラリーツアー、講演会等を実施します。

（3）受託事業等

受託事業として、めぐろオータムアートを実施します。また、50回目となる区展（区民作品展）への協力等を行います。

（4）調査研究

区内の様々な文化資源の調査研究を深めます。

また、個々の学芸員の専門性を活かし、美術館の事業運営を見据えた、より実践的な学芸活動を進めます。

こうした調査研究の成果を土台にして、魅力ある企画展を催し、美術作品の豊かな表現を区民に伝えてまいります。

（5）区民等の芸術文化活動への支援

区内美術団体に対して、区民ギャラリーを提供するなど、区民の芸術文化活動を支援します。

美術館や地域の活性化を図るため、地元商店街、区内の美術館や博物館などと協力関係の構築に努め、区や他団体等との連携をさらに図り、芸術文化活動の推進に努めます。

（6）区民ギャラリーの運営

公平で公正な利用に供するため、職員による厳正な抽選会を実施します。

利用者に対しては、作業の安全性の確保や展示に関するアドバイスなどを通して創作の発表や交流の場として誰もが気軽に区民ギャラリーを利用できるよう、適正な運営を行います。

令和8年度 目黒区文化ホール事業計画

1 自主事業

(1) 鑑賞事業 [16事業・66公演]

(単位:円)

区分	事業・公演					収入				支出	収入-支出 (自主財源)		
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演 数等	チケット・ 参加費	区補助金	その他※			計	
主催	伝統芸能	1	1月	大ホール	○ 新春落語	新春に行う恒例の落語公演	1	4,122,490	0	0	4,122,490	3,393,100	729,390
	クラシック	2	7月 11月	GTホール 大ホール	○ フレッシュ名曲コンサート	新進演奏家をソリストとしたオーケストラコンサート。本公演周知のキャンペーンコンサート実施。助成金活用事業	2	3,885,345	0	3,600,000	7,485,345	8,035,849	△ 550,504
		3-1	4月	小ホール	○ 室内楽公演「String Trio」	郷古廉・村上淳一郎・横坂源による弦楽三重奏	2	1,690,000	0	0	1,690,000	1,918,400	△ 228,400
		3-2	9月	大ホール	○ 室内楽公演「ライヒ90」	加藤訓子によるスティーヴ・ライヒ・プロジェクト	1	2,630,000	0	0	2,630,000	4,274,000	△ 1,644,000
	ポピュラー	4	1月	大ホール	○ JAZZ公演	バンクシア・トリオ結成10周年記念コンサート	1	2,594,200	0	0	2,594,200	2,845,925	△ 251,725
		5	未定	大ホール	○ 夜のラウンジライブ	大ホールホワイエを活用した平日夜間のコンサート	2	403,200	0	0	403,200	601,282	△ 198,082
	その他	6	未定	美術館	○ 美術館連携公演	美術館事業との連携公演	1	153,000	0	0	153,000	386,500	△ 233,500
					○ 次年度準備	次年度事業の準備経費		0	0	0	0	100,000	△ 100,000
小計	6					10	15,478,235	0	3,600,000	19,078,235	21,555,056	△ 2,476,821	
共催	バレエ	1	8月	大ホール 小ホール	○ めぐるバレエ祭り	東京バレエ団主催による大ホール公演と小ホール等での各種ワークショップやイベント	40	108,000	0	0	108,000	15,000	93,000
		2	12月	大ホール	☆ モスクワ・クラシック・バレエ	光藍社主催によるバレエ公演	2	239,760	0	0	239,760	14,760	225,000
	クラシック	3	6月	GTホール 小ホール	○ レクチャー付室内楽公演	Music Dialogue主催によるレクチャー付室内楽公演	2	25,340	0	0	25,340	25,340	0
		4	6月	大ホール	☆ 0歳からのコンサート	東京21世紀管弦楽団主催によるファミリーコンサート	2	21,600	0	0	21,600	21,600	0
		5	9月	大ホール	★ 子どもに音楽を20周年記念公演	子どもに音楽を主催による20周年記念公演	1	74,520	0	0	74,520	74,520	0
	ポピュラー	6	5月	大ホール	★ 三浦一馬五重奏団	Moon/イープラス主催によるバンドネオン五重奏コンサート	1	54,000	0	0	54,000	10,000	44,000
		7	5月 7月	大ホール	○ ポピュラーコンサート	東京労音主催によるポピュラーコンサート	2	90,720	0	0	90,720	20,000	70,720
		8	12月	大ホール	☆ ザ・ピアノエラ2026	国内外のアーティストによるピアノフェスティバル	2	42,768	0	0	42,768	15,768	27,000
		9	未定	小ホール	☆ JAZZコンサート	共催JAZZコンサート	1	20,520	0	0	20,520	20,520	0
	伝統芸能	10	4、7、 10月	大ホール	○ 落語	年3回の共催落語公演	3	209,466	0	0	209,466	27,466	182,000
小計	10					56	886,694	0	0	886,694	244,974	641,720	
計	16					66	16,364,929	0	3,600,000	19,964,929	21,800,030	△ 1,835,101	

※その他は共同主催である(公財)東京都歴史文化財団の分担金

(2) 地域の芸術文化・支援事業 [17事業・21公演]

(単位:円)

区分	事業・公演						収入				支出	収入-支出 (自主財源)	
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演 数等	チケット・ 参加費	区補助金	その他	計			
主催	地域支援	1	4月	大ホール	○ 避難訓練コンサート	公演中に避難訓練を行う企画 (出演:警視庁音楽隊)	1	0	551,000	0	551,000	551,000	0
	鑑賞支援	2	6月	小ホール	★ 音と踊りの広っぱ	障害や特性により一般的な公演鑑賞が困難な方を対象としたコンサート	2	189,000	0	0	189,000	428,914	△ 239,914
	新進支援	3	未定	小ホール	○ 未来の音コンサート	新進アーティストのクラシックコンサート	2	1,056,000	0	0	1,056,000	1,268,738	△ 212,738
	小計	3					5	1,245,000	551,000	0	1,796,000	2,248,652	△ 452,652
共催		1	4月	大ホール	○ 全国舞踊コンクール決勝	東京新聞主催によるバレエ・舞踊・邦舞のコンクール	1	0	0	0	0	69,000	△ 69,000
		2	6月	大ホール	○ 全国舞踊コンクール入賞者アンコール公演	東京新聞主催によるバレエ・舞踊・邦舞のコンクール入賞者による公演	1	5,200	0	0	5,200	5,200	0
		3	6月	大ホール	○ 東京新聞児童舞踊合同公演	東京新聞主催による児童舞踊部門の公演	1	600	0	0	600	600	0
		4	4月	大ホール	○ 東山オーケストラ演奏会 ※	目黒区東山オーケストラ主催による演奏会	1	0	0	0	0	0	0
		5	5月	GTホール	○ レクチャーコンサート邦楽 煌(きらら)	邦楽研究会 芦垣主催による現代音楽と邦楽のコンサート	1	2,000	0	0	2,000	2,000	0
		6	12月	大ホール	○ 目黒区民交響楽団 定期演奏会 ※	目黒区民交響楽団主催による定期演奏会	1	7,500	0	0	7,500	7,500	0
	団体支援	7	6月	大ホール	○ 目黒吹奏楽団 定期演奏会 ※	目黒吹奏楽団主催による定期演奏会	1	0	0	0	0	0	0
		8	7月	大ホール	○ 東京マンドリン宮田楽団 定期演奏会	東京マンドリン宮田楽団主催による定期演奏会	1	36,000	0	0	36,000	36,000	0
		9	7月 9月	小ホール	○ 伝統芸能、舞台芸術に親しむ	北野生涯教育振興会主催による公演	2	10,800	0	0	10,800	10,800	0
		10	4月	大ホール	☆ オペラ「ヤマタノオロチ」	北野生涯教育振興会主催による創立50周年記念公演	1	59,400	0	0	59,400	17,000	42,400
		11	3月	小ホール	☆ チャリティコンサート	北野生涯教育振興会主催によるチャリティコンサート	1	1,620	0	0	1,620	1,620	0
		12	7月	大ホール 小ホール	○ パーシモンほたるまつり	パーシモンほたる祭り実行委員会主催による区民キャンパスで実施する地域イベント	1	0	150,000	0	150,000	300,000	△ 150,000
		13	10月	大ホール	○ めぐる童謡コンサート ※	童謡の里めぐり保存会主催による童謡・合唱等のコンサート	1	10,000	0	0	10,000	10,000	0
	子育て支援	14	3月	小ホール	○ 親子のためのふれあいコンサート	東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団主催によるファミリーコンサート	2	7,500	0	0	7,500	7,500	0
小計	14					16	140,620	150,000	0	290,620	467,220	△ 176,600	
<b>計</b>	<b>17</b>					<b>21</b>	<b>1,385,620</b>	<b>701,000</b>	<b>0</b>	<b>2,086,620</b>	<b>2,715,872</b>	<b>△ 629,252</b>	

※ めぐるパーシモン芸術文化ネットワークによる公演。同ネットワークは、芸術文化活動を通して活動団体の交流・連携・協力を深め、目黒区の芸術文化の振興を進めることを目的として、目黒区東山オーケストラ、目黒区民交響楽団、目黒吹奏楽団、童謡の里めぐり保存会、目黒区クラシック音楽家協会により構成している。

(3) 体験・普及事業 [4事業・50公演]

(単位:円)

区分	事業・公演						収入				支出	収入-支出 (自主財源)	
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演 数等	チケット・ 参加費	区補助金	その他※	計			
主催	ワークショップ	1	6月 7月他	小ホール	○ 子ども向けワークショップ (演劇2、ダンス2)	子どもを対象にしたワークショップ	4	178,000	0	1,400,000	1,578,000	1,809,900	△ 231,900
		2	未定	小ホール	○ 大人のための演劇ワークショップ	大人を対象にしたワークショップ	1	108,000	0	300,000	408,000	426,200	△ 18,200
	クリニック	3	未定	小ホール他	★ 吹奏楽&楽器クリニック	中高生の吹奏楽部員等を対象とした楽器・吹奏楽クリニック	2	85,000	0	500,000	585,000	1,723,400	△ 1,138,400
	アウトリーチ	4	年間	小中学校等	○ アウトリーチプログラム	区内小中学校等にアーティストが出向き、子どもたち等との交流等を実施	43	0	5,000,000	1,000,000	6,000,000	6,177,161	△ 177,161
<b>計</b>		4				50	371,000	5,000,000	3,200,000	8,571,000	10,136,661	△ 1,565,661	

※その他は北野生涯教育振興会からの協賛金

<b>公演等事業合計 [(1)鑑賞+(2)地域・支援+(3)体験・普及] (37事業・137公演)</b>	<b>18,121,549</b>	<b>5,701,000</b>	<b>6,800,000</b>	<b>30,622,549</b>	<b>34,652,563</b>	<b>△ 4,030,014</b>
---	-------------------	------------------	------------------	-------------------	-------------------	--------------------

(4) 自主事業運営経費

(単位:円)

区分	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	収入				支出	収入-支出 (自主財源)
			チケット・ 参加費	区補助金	その他※	計		
自主事業 運営経費	○ チケット手数料及び委託	チケット購入に係るシステム委託及び手数料	0	500,000	0	500,000	1,134,620	△ 634,620
	○ 都立大学駅前ポスター掲出委託	都立大学駅前に設置している看板掲出料	0	458,600	0	458,600	486,400	△ 27,800
	○ ボランティア活動の支援	ホール事業等のスタッフとして活動を支援	0	0	0	0	26,250	△ 26,250
	○ 賛助会運営	ホール賛助会(法人・個人)の運営	0	0	612,000	612,000	38,500	573,500
	○ アートレター	財団情報紙である「アートレター」の作成・配布	0	2,186,800	854,000	3,040,800	6,096,960	△ 3,056,160
	○ その他全体広報	ホール全体の広報等	0	0	0	0	300,000	△ 300,000
<b>計</b>			<b>0</b>	<b>3,145,400</b>	<b>1,466,000</b>	<b>4,611,400</b>	<b>8,082,730</b>	<b>△ 3,471,330</b>

※ 賛助会運営のその他は賛助会費、アートレターのその他は広告料収入

<b>自主事業合計 [(1)鑑賞+(2)地域・支援+(3)体験・普及+(4)運営経費]</b>	<b>18,121,549</b>	<b>8,846,400</b>	<b>8,266,000</b>	<b>35,233,949</b>	<b>42,735,293</b>	<b>△ 7,501,344</b>
---	-------------------	------------------	------------------	-------------------	-------------------	--------------------

## 2 指定管理事業

(単位:円)

区分	事業・公演					収入				支出	収入-支出 (自主財源)	
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演 数等	チケット・ 参加費	指定管理料	その他			計
指定管理事業	1	9月	大ホール	★ 沖仁 セクステット	日本を代表するフラメンコギタリストとフラメンコダンスの公演	1	3,635,050	2,000,000	0	5,635,050	5,635,050	0
<b>計</b>	<b>1</b>					<b>1</b>	<b>3,635,050</b>	<b>2,000,000</b>	<b>0</b>	<b>5,635,050</b>	<b>5,635,050</b>	<b>0</b>

## 3 受託事業

(単位:円)

区分	事業・公演					収入				支出	収入-支出 (自主財源)	
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演 数等	チケット・ 参加費	区委託料	その他			計
受託事業	1	春・秋	大・小 ホール等	○ 目黒区文化祭	日舞、合唱、民謡、華茶道、邦楽、洋舞、吟剣、自主グループ、演劇、謡曲、民謡、音楽の各団体による公演	13	0	1,963,843	0	1,963,843	1,963,843	0
	2	秋	区内施設等	○ めぐるオータムアート	区の特徴を生かし「聴く、観る、知る、創造する、育てる」の視点で ①美術館との連携事業②区内施設でのコンサートを実施	3	333,000	796,000	0	1,129,000	1,129,000	0
<b>計</b>	<b>2</b>					<b>16</b>	<b>333,000</b>	<b>2,759,843</b>	<b>0</b>	<b>3,092,843</b>	<b>3,092,843</b>	<b>0</b>

<b>全事業合計 [1自主事業+2指定管理事業+3受託事業]</b>						<b>22,089,599</b>	<b>13,606,243</b>	<b>8,266,000</b>	<b>43,961,842</b>	<b>51,463,186</b>	<b>△ 7,501,344</b>
------------------------------------	--	--	--	--	--	-------------------	-------------------	------------------	-------------------	-------------------	--------------------

## 令和8年度 目黒区美術館事業計画

### 1 自主事業

#### (1) 展覧会事業

(単位:円)

番号	展覧会名	期間(予定)	内容	収入				支出	収入-支出 (自主財源)
				展示事業	区補助金	その他	計		
1	岡田謙三 パリ・目黒・ニューヨーク (令和7年度からの継続事業)	4月1日(水) ～5月10日(日) [35日間] *2月21日から	1929年に自由が丘にアトリエを築いた目黒にゆかりのある芸術家・岡田謙三は、1920年代のパリと1950年代以降のニューヨーク、二つの都市と美術の時代に生きた画家です。 本展では、岡田が、1950年の渡米以降、次第に抽象へと転じ、淡い色面を組み合わせた独自の作風を確立していく過程に着目します。岡田は、これまでニューヨークを席卷した抽象表現主義の作家との関連が指摘されてきましたが、パリに滞在していた1920年代からすでに「抽象性」について考え始めていました。当時のパリには、岡田と同じように海外から渡ってきた芸術家が、モンパルナスのカフェなどに集い、互いに議論を交わし、岡田もまた、友人で彫刻家の清水多嘉示らとともに積極的にその輪の中に入っていたことが明らかになっています。議論の内容が専ら「抽象性」に関することだったと振り返る清水の言葉からも、絵画や彫刻といった表現の垣根を越えて、岡田の周囲にいた芸術家たちにとって、一つの共通するテーマであったことが推測できます。 本展は、ニューヨークで花開いた岡田の表現を、1920年代の滯仏、1950年代の滯米時代の作品との比較から、再検討する試みです。	1,545,000	617,400	50,000	2,212,400	4,442,400	△ 2,230,000
2	高浜利也 目黒でいえあつめ	6月27日(土) ～8月30日(日) [56日間]	目黒区は、住みやすい住宅街として知られており、この地域特性を反映し、当館の建物は一軒家を意識したつくりになっています。この度は、「いえあつめ」をコンセプトに制作する銅版画家の高浜利也による展覧会を開催します。 2006年の越後妻有トリエンナーレに高浜が出品した際、廃屋での展示において、地元の子どもたちが残材で積み木遊びをしてまちを作りました。これを契機に高浜は、国内外での自身の展覧会やワークショップなどで、その土地の子どもたちが、この時の積み木の木っ端を材料に、新たないえを作りまちにしたものを、インスタレーションとして展示するという取り組みを継続するようになりました。このワークショップは、2009年春には「旅するまちなみー積み木でつくる皮膜の家」として、当館においても実施されました。高浜のこのような「いえあつめ」の行為は、自身の制作の重要な部分を構成しているといえます。 本展開催前に、目黒区立下目黒小学校の授業として、まずは高浜が児童たちと積み木のまちを作ります。材料には、児童が新たに切り出すものに加え、2009年に当館で実施したワークショップも含めた、高浜のこれまでの「いえあつめ」で収集された、様々な地域の様々な人の手を経た木っ端が用いられます。児童たちは最後に、いえやまちをテーマに版画を制作し、これらの成果物と共に、高浜の版画作品が展示されます。高浜の初期から新作までの銅版画作品も併せて展示します。	2,930,000	1,000,440	0	3,930,440	10,930,440	△ 7,000,000
3	杉本貴志展一 スーパーポテのインテリアデザイン・ 革新と横断 (令和9年度への継続事業)	令和9年 2月27日(土) ～3月31日(水) [28日間] *5月16日まで	目黒区美術館は1987年に開館し、開館年には40周年を迎えます。これを記念して、当館のラウンジスペースをはじめとするインテリアデザインの設計を手掛けた杉本貴志とスーパーポテの仕事を取り戻します。 1970年代は、室内装飾の概念を超えて、日本のインテリアデザインが独自の地歩を築き発展した時期でした。杉本は、東京藝術大学で鍛金を学んだ後、1973年にデザイン事務所スーパーポテを設立。その後、内部空間に関する斬新なデザイン概念を次々に打ち出し、2017年に至るまで、日本のインテリアデザイン史に残る空間を積極的に創造しました。生涯、素材や光などに着眼しますが、初期には硬質なデザインに特徴が見いだせます。1980年代には彫刻家・若林奮との協働が始まったことで、物質と対峙する空間設定へと展開します。西武=センゾグループの環境計画や、1983年の「無印良品」の第1号店への参画は、この時代を代表する空間構成として印象付けられています。さらに、シンガポールのホテルデザインを手始めに、アジアの文化的特徴を取り入れた現代的でグローバルな食の空間を作りあげたことは、世界的な評価を得ました。 本展では、時代を駆け抜けた杉本貴志の空間に対するデザイン理念を現代の視点から、杉本が手がけた空間の再現や、残された図面や資料で読み解きます。杉本自身の言葉、空間に使われた物質、世界各地で集めたモノやコトなども加えて、杉本貴志のデザイン思考を展示します。	1,600,500	6,800,000	0	8,400,500	8,400,500	0
4	次年度準備経費	—	次年度事業チラシ、デザイン費等	0	0	0	0	0	0
<b>計</b>				<b>6,075,500</b>	<b>8,417,840</b>	<b>50,000</b>	<b>14,543,340</b>	<b>23,773,340</b>	<b>△ 9,230,000</b>

(2) 教育普及事業

(単位:円)

番号	事業名		時期(予定)	募集対象	回数	内容	収入				支出	収入-支出 (自主財源)
							催物収入	区補助金	その他※	計		
1	ワークショップ(1)夏		7月～9月	子ども～大人	4コース程度	夏季に開催する展覧会に関連した内容を行います。	80,000	420,000	0	500,000	500,000	0
2	ワークショップ(2)春		令和9年 2月～3月	子ども～大人	3コース程度	美術の基本に関するテーマを設定し、美術全般についての美術講座を開催します。	65,000	290,000	0	355,000	355,000	0
3	ワークショップ(令和7年度からの継続)		令和8年4～5月	子ども～大人	1コース	令和7年度ワークショップ春の継続	200,000	140,000	80,000	420,000	420,000	0
4	目黒区総合庁舎 建築ガイドツアー		4月～6月	中学生～大人	4回程度	村野藤吾設計の目黒区総合庁舎の見どころを解説する人気の庁舎建築ツアーです。国内各地の村野建築ツアーなど関係する美術館等相互の広報も前年に続き実施します。						
5	トイコレクション プログラム	アウトリーチ	5月～6月 10月～11月	乳幼児～大人	2回	トイコレクションボランティアチームが、児童館で展開するアウトリーチプログラムです。テーマとストーリーをつくり、児童館に来る子どもたちと遊び美術館を紹介します。トイの日は、美術館で実施します。						
		トイの日	7月～9月	乳幼児～大人	4日程度							
6	大人のための美術カフェ		該当する展覧会の会期中	高校生以上	複数回	当館学芸員による、大人向けのゆるやかな美術談義を行います。ラウンジ等で展覧会担当学芸員が担当した展覧会や美術に関するエピソードなど自由にテーマを設定して開催します。						
7	デザインキャンプ プラス		夏以降	高校生以上	複数回	令和2年度に第10回を迎えるまで開催した「デザインキャンプ」を継承し、5年度に新たにプラス株式会社ファニチャーカンパニーと協働して再起動したワークショップです。目黒区を中心とした近隣住民を意識し、デザインを考える・体験する良質な場とつながりを提供するための活動を展開します。						
8	画材の実験室		該当する展覧会の会期中	子ども～大人	複数回	美術作品を多角的な視点で見るために、実際に展示されている作品を構成する画材や素材、技法について着目し、鑑賞の前後にどなたでも気軽に体験できるミニ講座を開催します。						
9	ギャラリーツアー		各会期中	小中学生等	複数回	区内近隣の小中学校、学童保育クラブ、美術部等の鑑賞教室を受け入れます。						
10	美術講座		夏以降	高校生以上	複数回	美術に関する連続講座等を開催します。						
<b>計</b>							<b>345,000</b>	<b>850,000</b>	<b>80,000</b>	<b>1,275,000</b>	<b>1,275,000</b>	<b>0</b>

※ その他は、博物館実習収入

<b>自主事業合計 [(1)・(2)]</b>							<b>6,420,500</b>	<b>9,267,840</b>	<b>130,000</b>	<b>15,818,340</b>	<b>25,048,340</b>	<b>△ 9,230,000</b>
-------------------------	--	--	--	--	--	--	------------------	------------------	----------------	-------------------	-------------------	--------------------

## 2 指定管理事業

(単位:円)

番号	展覧会名	期間(予定)	内容	収入				支出	収入-支出 (自主財源)
				展示事業	指定管理料	その他	計		
1	目黒区美術館コレクション展	10月10日(土) ~11月15日(日) [32日間]	目黒区美術館では1987年の開館以来、近代以降の、海外で学んだり、国際的に活躍をした日本人画家を中心として、目黒にゆかりある作家・作品に焦点を当て、特色あるコレクションを形成してきました。これまで収集してきた所蔵作品の中から、人気の高い作品を中心に紹介します。	905,000	5,322,000	0	6,227,000	6,227,000	0
2	めぐろの子どもたち展	令和9年 1月16日(土) ~1月31日(日) [14日間]	目黒区立の幼稚園、こども園、小学校、中学校で学ぶ子どもたちが、授業中に制作した図画工作・美術・書道などの作品を展示し、子どもたちの素直な目を通して発見された驚きや、美しいものになりたいという意欲など、心の動きが豊かに表現された力作を紹介します。併せて交流のある海外都市の子どもたちが描いた作品も展示します。	0	2,204,100	0	2,204,100	2,204,100	0
<b>計</b>				<b>905,000</b>	<b>7,526,100</b>	<b>0</b>	<b>8,431,100</b>	<b>8,431,100</b>	<b>0</b>

## 3 受託事業

(単位:円)

番号	事業名	時期(予定)	募集対象	回数	内容	収入				支出	収入-支出 (自主財源)
						催物収入	委託料	その他	計		
1	めぐろオータムアート (区と財団の共同企画)	秋頃	未定	未定	目黒界隈の建築を見るツアー「建築めぐり塾」、家族で美術と美術館に親しんでいただくワークショップです。 パーシモンホールと共同し、音楽と美術に関する催事を行います。	30,000	282,000	0	312,000	312,000	0
<b>計</b>						<b>21,000</b>	<b>282,000</b>	<b>0</b>	<b>303,000</b>	<b>303,000</b>	<b>0</b>

<b>全事業合計 [1~3]</b>						<b>7,346,500</b>	<b>17,075,940</b>	<b>130,000</b>	<b>24,552,440</b>	<b>33,782,440</b>	<b>△ 9,230,000</b>
--------------------	--	--	--	--	--	------------------	-------------------	----------------	-------------------	-------------------	--------------------

## 4 その他事業

(1) 後援事業 (区民ギャラリー) ※ 時期は予定

ア 目黒区書作家協会展 : 5月

イ 目黒区美術家協会展 : 6月

ウ 目黒区美芸作家協会展 : 令和9年3月

(2) 協力事業 (主催: 目黒区民作品展実行委員会) ※ 時期は予定

区展 (区民作品展) : 9月